

令和5年度留萌市応援寄附金活用事例のご紹介

寄附者の皆様から頂戴いたしました大切な寄附金は、留萌市の発展及び市民の豊かな暮らしを作るために有効に活用をさせていただいております。

令和5年度は
こども達が様々な体験を通して成長ができる施策や、地元企業の更なる発展のための施策等

53事業 に **501,062,236円** を活用させていただきました。

活用実績

No.	予算事業名	取崩額	対象寄附項目
1	地域戦略推進事業	1,482,502	萌える若者たちのまちづくりに関する事業
2	音楽合宿のまち「るもい」事業	3,593,420	
3	観光・地域ブランド化向上事業	1,439,278	
4	中体連参加費補助金	2,543,951	
5	全国大会等遠征費助成金	2,283,000	
6	合宿誘致助成金	876,000	
7	産学官連携強化事業	1,814,518	ふるさとの海づくり・里山づくりに関する事業
8	スマート農業推進事業	2,502,273	
9	ナマコ資源増大共同事業負担金	202,269	食のブランド化・食育に関する事業
10	学校給食地元食材活用事業	267,059	
11	温泉施設送迎車両運行委託料	878,090	健康で輝きのある元気づくりに関する事業
12	新生児聴覚検査費助成金	424,300	
13	地域リスク介入研究推進事業委託料	1,951,115	安心して暮らせる地域医療づくりに関する事業
14	看護師等修学資金貸付事業	16,680,000	
15	市立分 看護師等修学資金貸付事業	12,600,000	
16	不妊治療費等助成金	32,666	
17	保育士確保対策助成金	200,000	こどもの健全な育成に関する事業
18	保育士確保対策補助金	45,750	
19	寺子屋るもいっこ事業	1,684,618	
20	冬季スポーツ環境推進事業	1,800,287	
21	保育士等加配補助金	8,514,360	
22	特別支援教育支援員配置事業	26,282,602	
23	教育支援センター設置・運営事業	6,780,001	
24	空調設備整備事業（小学校）	2,694,000	
25	空調設備整備事業（中学校）	1,926,000	
26	防災備蓄品・資機材整備事業	3,000,000	市長が特に必要と認める重点事業
27	自主防災活動支援事業	525,599	
28	乳幼児等医療扶助費（拡大助成分）	29,797,739	
29	乳幼児等医療扶助費（高校生等拡大助成）	9,701,552	
30	道の駅るもい整備事業	15,839,480	
31	VICTASとの連携による卓球のまちづくり事業	8,930,127	
32	ブルーカーボン推進試験事業	1,291,644	
33	コンサドーレとの連携によるスポーツを起爆剤としたひとづくりまちづくり事業	595,400	
34	河合塾との連携による地元高校教育振興支援事業	7,820,416	
35	地元企業応援助成金	13,193,000	
36	モンベルアウトドア観光構築事業	1,924,000	
37	部活動の地域移行実証事業	2,008,295	
38	図書館電話交換設備補修工事	957,000	
39	浜中陸上競技場公認継続事業	4,787,230	
40	河合塾との連携による学習意欲向上事業（小学校）	5,480,640	
41	河合塾との連携による学習意欲向上事業（中学校）	3,069,210	
42	旧北光中学校屋内運動場活用事業	680,022	
43	ごみ収集支援事業	2,201,311	
44	地域活性化企業人件費負担金	16,929,000	
45	高齢者市内バス利用促進実証実験事業	3,314,462	
46	新規漁業就業者支援事業	2,365,523	
47	学生移住応援助成金	3,550,527	
48	北海道留萌高等学校100周年記念事業協賛会補助金	2,000,000	
49	新交流複合施設整備検討支援業務委託料	4,675,000	
50	小麦集出荷保管施設整備事業（基本設計分）	6,600,000	
51	水産振興センター整備事業	2,739,000	
52	アウトドア観光拠点形成推進事業	4,470,000	
53	病院事業会計補助金	243,118,000	
合 計		501,062,236	

主な施策のご紹介

1. 萌える若者たちのまちづくり 全6事業 / 12,218,151円

(1) 音楽合宿のまち「るもい」事業

音楽合宿の受け入れに向けて、市民力が継続的に発揮できる環境を整えるとともに、市民が音楽に触れ合う機会の提供と、交流人口の拡大を図ることを目的に実施しました。

10団体、延372名を受け入れることで、音楽文化の振興を促進することができました。



(2) 観光・地域ブランド力向上事業

道内外都市部における水産加工品などの特産品及び留萌観光のPRを実施しました。留萌の知名度向上、販路を含めた交流人口の拡大を目指し、消費者からの直接的なレスポンスを伺うことができました。



(3) 全国大会等遠征費助成金

子ども達の技術力向上と夢へのチャレンジを支援するため、全国大会や全日本合宿、国際大会等への参加にかかる費用の助成を行いました。R5は個人延52名へ助成を行い、子ども達の未来への可能性を広げることができました。



2. ふるさとの海づくり・里山づくり

全3事業 / 4,519,060円

(1) 産学官連携強化事業

産学官連携協定を基にした水産業振興に向けた各種試験研究事業を実施しました。令和5年度はアオノリ・ダスルの陸上養殖実験や漁港内でのリシリコンブ・ワカメの養殖等を行いました。



(2) スマート農業推進事業

農業者の高齢化や担い手の作付面積増加に伴う労働力不足を解消するため、自動操舵トラクターや農薬散布用ドローンを導入することにより省力化や生産コスト低減、及び生産量増加等が期待できます。令和5年度は自動操舵機能付き田植え機の購入の一部を助成し、スマート農業機器の導入の促進につながり農業者の作業の効率化及び省力化が図られ、所得の向上等に繋がりました。



3. 食のブランド化・食育

全1事業 / 267,059円

(1) 学校給食地元食材活用事業

学校給食を生かし、地場産品や郷土食の導入などによる、郷土を大切にする心を育成指導することを目的に実施しました。令和5年度は、味付け数の子やカズチー、地場の小麦である「ルルロツソ」を使用したラーメンなどを提供しました。



4. 健康で輝きのある元気づくり

全2事業 / 1,302,390円

(1) 温泉施設送迎車両運行委託料

公衆衛生の保持を目的に、自宅にお風呂がない、またはお風呂を利用できない方の温泉施設への移動手段を確保するため送迎車両の運行を実施しました。
令和5年度は延1,039名の市民が本送迎バスを利用されました。

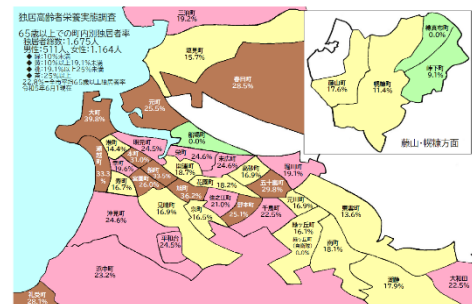


5. 安心して暮らせる地域医療づくり

全4事業 / 31,263,781円

(1) 地域リスク介入研究推進事業委託料

高齢化社会に伴い、生活習慣病を背景とする糖尿病・脳卒中・認知症が増加傾向にあります。特にリスクが高いことが懸念される独居高齢者に焦点を当て、その実態を明らかにし、課題抽出と適切な対応の分析を行うことで、高齢者の生活機能の低下を未然に防止することができました。



6. 子どもの健全な育成

全9事業 / 49,927,618円

(1) 寺子屋るもいっこ事業

「るもいの宝」である子ども達が、ふるさとを愛し、勉強や学び体験を通じて自ら考え行動し、将来の夢を育むことができる環境を整えるため、本事業を実施しました。令和5年度は学びの広場に延337名、体験学習に延197名が参加し、子ども達のふるさと意識や、将来の夢を育む環境の醸成につながっています。



7. 市長が特に必要と認める重点事業 全28事業 / 401,564,177円

(1) VICTASとの連携による卓球のまちづくり事業

子どもたちの夢実現に向けて、練習環境をより強化し、子どもたちの競技力強化を図りました。また、卓球競技の普及を図るため、小さい子どもたちから高齢者まで幅広い世代に卓球に触れる機会を創出し、健康増進等につなげることができました。



(2) ブルーカーボン推進試験事業

脱炭素社会実現を目指し、海藻類の光合成によるCO2吸収を活用したブルーカーボンについて、留萌市におけるブルーカーボン推進の可能性を模索するため、養殖手法を活用した試験を実施し、さらには水産業振興につながるブルーカーボン推進を目指す取り組みを実施しました。



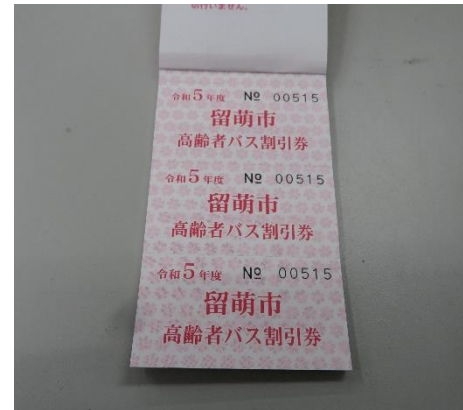
(3) ふるさと納税特設サイト等作成委託料

元プロ選手によるサッカー教室やバドミントンの教室を開催したほか、市民を対象としたスポーツに関係の深い体づくりや食育講習会、スポーツマネジメント授業の開催を通じて、各競技に取り組む子どもたちの夢を後押しし、質の高い指導環境の基、選手の技術向上、競技に対する深い理解促進を図ることができました。



(4) 高齢者市内バス利用促進実証実験事業

留萌市内に住所を有する満75歳以上の高齢者が市内バス路線を利用する際の運賃を補助することで、高齢者の外出に係る金銭的負担を軽減し社会活動の参画機会の創出を図り、バス利用を促進することで持続可能な公共交通体系の維持、確保につなげる事業を実施しました。令和5年度は延772名の割引券利用があり、高齢者の外出機会の創出及び持続可能な公共交通体系の維持・確保に繋がりました。



(5) アウトドア観光拠点形成推進事業

国内屈指のアウトドアメーカーである(株)モンベルと包括連携協定を締結し、アウトドアを核としたまちづくりを進めるため「モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想」を策定し、「アウトドアヴィレッジるもい」の整備を進めています。当該事業では、サウンディング調査、基本計画等策定のほか、アウトドアDMO（仮称）組織化の検討、廃線後の鉄道遺産活用可能性調査を実施し、「モンベルアウトドアヴィレッジ」の整備を進めることで、留萌市、留萌振興局管内がアウトドア観光誘客を「共創する」環境整備や観光人口、交流人口の増加と、地域に稼ぎを生み、市民に幅広く還元できるまちづくりを引き続き目指していきます。

